

事前の備えと普段からの対策を！

家族で連絡ルールを決めておこう

●集合場所・避難所の確認
7ページのリストから、避難所の場所と、避難経路や所要時間を家族で確認しておく

●どこに避難したか知らせる
メモ用紙などに避難先を書いておく。家のどこに貼っておくかも確認しておく

●共通の連絡先を決めておく
携帯電話が使えなくても困らないよう、遠方の親戚などの連絡先を決めておく

●洪水ハザードマップを活用しよう

大雨によって市内を流れる川が氾濫した場合に想定される、浸水する区域とその深さ、避難所などを掲載した地図です。

手元にはない方は、市HPからダウンロードするか、防災課（☎33・9969）まで。

※新しい洪水ハザードマップは、来年3月頃に配布予定。



非常持ち出し品をチェック！

懐中電灯

できれば1人に1つ用意。予備の電池と電球も忘れずに

携帯ラジオ

小型で軽く、AMとFMの両方を聞ける物が良い。予備の電池は多めに用意

貴重品

現金、預・貯金通帳、印鑑、健康保険証など

子供は、ぬいぐるみやおもちゃなどが手元にあると安心します



すぐに取り出せる場所に保管しておくで安心です

非常食・水

乾パンや缶詰など、火を通さずに食べられる物。水はペットボトル入りが便利。乳幼児がいる場合は、粉ミルクとお湯も忘れずに

救急医薬品

傷薬、ばんそうこう、解熱剤、風邪薬、胃腸薬、目薬など。常備薬、お薬手帳があれば忘れずに用意

その他

ヘルメット、マスク、上着・下着、タオル、軍手、紙の食器、ライター、缶切り、ビニール袋、ティッシュ、歯ブラシ、生理用品、紙おむつ、哺乳瓶、携帯トイレなど

※災害後3日間は自活できるように準備しましょう。

避難時に地域の支援が必要な方へ

市では、介護が必要な方や障害のある方などが災害時に身近な地域で避難支援を受けられるよう、支援が必要な方（避難行動要支援者）の名簿を作成しています。

避難行動要支援者名簿への登載を希望する方で、要件を満たす場合は申込みができます。申請書は、福祉保険課（第二庁舎3階）、長寿社会

課・介護保険課（総合庁舎2階）、障害福祉課（第二庁舎1階）、各支所・公民館などの他、市HPからも入手できます。



●避難行動要支援者名簿に
●登録可能な方
●要支援2以上の介護認定を受けている方



●次のいずれかの交付を受けている方＝身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費（指定難病）受給者証、在宅難病患者等酸素濃縮器使用助成認定証、ウイルス性肝炎進行防止対策・橋本病重症患者対策医療受給者証、ウイルス性肝炎進行防止対策（肝炎治療特別促進事業）医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証

【詳細】名簿への登載は福祉保険課☎25・6312、名簿の提供は防災課☎33・9969



被害発生2週間後の倉敷市真備支所は、浸水によって机や書類が散乱していた

特集 水害発生！ そのとき どうする？

日頃から、物心両面の備えを

災害は人ごとではない！

旭川でも水害が発生

皆さんは、「旭川は災害が少ない」と思っていますか。しかし、7月の大雨では一部地域が浸水の被害を受けました。また、平成28年にも大雨による被害が発生しています。多くの河川が流れる旭川では、大雨による川の氾濫や土砂災害等が、今後も発生する可能性があります。

倉敷市へ職員を派遣

中核市（旭川市を含む54市）では、中核市災害相互応援に関する協定を結んでおり、被災した市の要請に応じて職員の応援や救済物資の提供等により、復旧を支援します。この協定により、市では、7月の西日本豪雨に見舞われた岡山県倉敷市に、7月23日から8月31日までの期間に1週間交代で職員を派遣。最初に被災地入りした防災課の田坂賢一さんに話を聞きました。

災害が少ない地区で大規模浸水

倉敷市真備地区では、町内を東西に流れる1級河川の本・支流が決壊。家屋4千棟以上の浸水被害が発生し、多数の死者が出る大災



倉敷市に派遣された防災課の田坂賢一さん

害となりました。倉敷市ではこれまで災害が少なく「水害なんて、よそのまちの話だと思っていた」と肩を落とす人もいて、予測できない自然災害に対して、いかに備えるべきか改めて考えました」と、田坂さんは話します。

地域のつながりが力に

田坂さんら2人は、発生から2週間が経った真備地区の避難所の運営管理を支援。「小学校に約300人が宿泊していました。お年寄りの手助けや困っている人への声掛けなど皆さんが協力して支え合っていて、普段からの地域のつながりを感じました」と話します。「日頃から一人一人が災害に備える『自助』と、地域で助け合う『共助』が、災害時に犠牲者や被害を最小限に抑える力になります」と、互いに連携して命を守る「防災」の大切さを強調します。

地域の避難所を確認しよう！

避難が必要な場合に開設されます。
自宅や職場等からの経路も併せて確認すると安心です。

地区名	洪水時	施設名	地区名	洪水時	施設名
西	●	日章小学校	東旭川	●	びあふる岩山 (旧旭川第4小学校)
	✕	新町小学校		●	旭川第5小学校 (併設 桜岡中)
	✕	旭川高等支援学校		●	東旭川公民館 日の出分館
大成	●	青雲小学校	北星	●	東旭川公民館 瑞穂分館
	●	旭川商業高校		●	旧旭川第1中学校
	●	旭川東高校		●	旭川第1小学校
東	●	旧北都中学校	東旭川	●	大有小学校
	●	知新小学校		●	北光小学校
	●	中央中学校		●	北星地区センター
東旭川	●	朝日小学校	春光	✕	大町小学校
	●	東部住民センター		✕	旭川西高校
	●	東光中学校		✕	北門中学校
東旭川	●	千代田小学校	春光	●	旭川北高校
	●	東町小学校		●	旭川藤女子高校
	●	光陽中学校		●	北海道教育大学 旭川校
東旭川	●	旭川龍谷高校	春光	✕	旭川明成高校
	●	豊岡小学校		✕	近文小学校
	●	豊岡地区センター		●	啓北中学校
東旭川	●	啓明小学校	春光	●	北海道教育大学 附属旭川小学校
	●	啓明地区センター		●	北海道教育大学 附属旭川中学校
	●	東栄小学校		●	北部住民センター
東旭川	●	旭川第3小学校	春光	●	北鎮小学校
	●	東明中学校		●	高台小学校
	●	東光小学校		●	旭川工業高等 専門学校
東旭川	●	東陽中学校	春光	●	春光台地区センター
	●	共栄小学校		●	春光台中学校
	●	愛宕東小学校		●	福祉村地域交流 ホームYOU
東旭川	●	愛宕小学校	春光	●	春光小学校
	●	愛宕中学校			
	●	旭川小学校			
東旭川	●	東旭川農村環境 改善センター			
	●	旭川第2中学校			
	●	旭川第2小学校			
東旭川	●	旭川中学校			

地区名	洪水時	施設名	地区名	洪水時	施設名
春光	●	六合中学校	神楽	●	西御料地小学校
	●	末広小学校		●	緑が丘住民センター
	●	旭川実業高校		●	緑が丘小学校
東鷹栖	●	北星中学校	西神楽	●	旭川医科大学
	●	向陵小学校		●	旭川南高校
	●	末広地域活動センター		●	旭川工業高校
新旭川	●	陵雲小学校	神居	●	旧聖和小学校
	●	末広地区センター		●	西神楽公民館就美分館
	●	広陵中学校		●	千代ヶ岡小学校
永山	●	末広北小学校	江丹別	●	西神楽小学校
	●	東鷹栖中学校		●	西神楽農業構造 改善センター
	●	近文第1小学校		●	西神楽中学校
神楽	●	近文第2小学校	江丹別	●	神居東小学校
	●	東鷹栖 農村活性化センター		●	神居住民センター
	●	東鷹栖公民館 第3分館		●	神居中学校
神楽	●	新富小学校	江丹別	●	神居小学校
	●	正和小学校		●	神居東中学校
	✕	明星中学校		●	旧雨紛中学校
神楽	●	東五条小学校	江丹別	●	雨紛小学校
	●	新旭川地区センター		●	神居公民館 上雨紛分館
	●	旭川大学		●	西神居会館
神楽	●	永山小学校	江丹別	●	旧神居古潭小学校 (併設 旧神居古潭中)
	●	永山住民センター		●	台場小学校
	●	永山西小学校		●	富沢小学校
神楽	●	旭川大学高校	江丹別	●	セルプ豊里 (旧豊里中学校)
	●	永山中学校		●	旧旭川北都商業 高校
	●	永山南小学校		✕	忠和中学校
神楽	●	旭川永嶺高校	江丹別	✕	忠和小学校
	●	永山南中学校		✕	忠和地区センター
	●	永山東小学校	江丹別	●	嵐山小学校 (併設 嵐山中)
神楽	●	永山新川管理センター		●	江丹別小学校 (併設 江丹別中)
	●	旭川農業高校			
神楽	✕	神楽小学校			
	✕	神楽中学校			
	●	緑新小学校			
神楽	●	神楽岡地区センター			
	✕	神楽岡小学校			

※「✕」は地震時には開設。

経験を過信せず、最新情報を入手して命を守る行動を！

避難行動の基準

災害による被害が拡大するおそれがあり、住民への危険が迫ったときには、市が右記のとおり避難情報を発令します。発令された場合は、速やかに行動しましょう。避難情報は、テレビやラジオ等の報道機関や市HPの他、広報車でもお知らせするので、平常時よりも注意して情報を確認してください。また、**避難勧告や避難指示が出る前でも、危険を感じたら、自主的に避難してください。**

これまでの経験や、周りが避難していないからなどの理由で安心せずに、避難しましょう。

避難情報	取るべき行動
避難準備・高齢者等避難開始	●避難準備を開始 ●高齢者など、避難に時間がかかる人は避難開始
避難勧告	● 速やかに 避難
避難指示	● 直ちに 避難

雨の強さと降り方

※1時間の雨量。



やや強い雨

10mm以上20mm未満



たくさんの水たまり

強い雨

20mm以上30mm未満



側溝があふれる

激しい雨

30mm以上50mm未満



道路が川のように

非常に激しい雨

50mm以上80mm未満



傘が全く役に立たない。視界不良。車の運転は危険

猛烈な雨

80mm以上



気象台が発表する気象情報

大雨に関する気象情報

警報・注意報に先立って発表

大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される

大雨警報（土砂災害・浸水害）

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される

直ちに命を守る行動を！

土砂災害警戒情報

記録的短時間大雨情報

土砂災害の危険性がさらに高まった

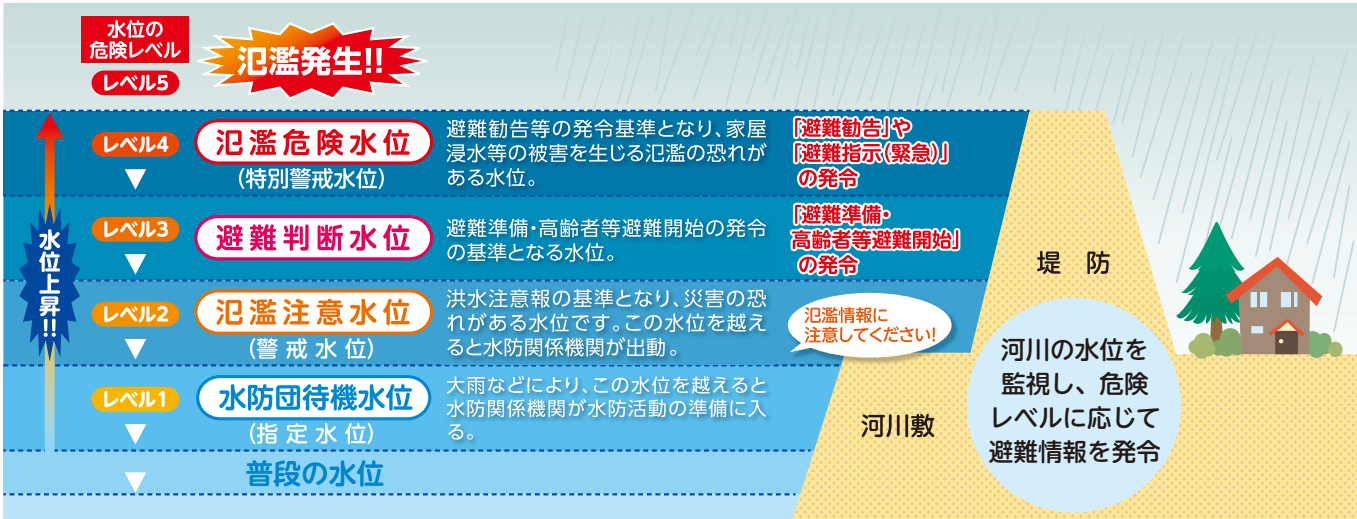
大雨特別警報（土砂災害・浸水害）

大雨が続き、重大な災害が起こる危険性が非常に高まった

※特別警報の詳細は、気象庁HPをご覧ください。

河川氾濫の危険レベル

気象庁から記録的短時間大雨情報が発表されるほどの雨が降ると、浸水被害や崖崩れ、土石流、地滑りなどの土砂災害が発生します。また、水の力はとても強く、大雨による浸水被害が起こった場合、人や車は簡単に押し流されてしまいます。大雨が予想されるときは、水辺に近づかないようにしましょう。



安全避難のポイント

安全な服装で持ち物は最小限に

ヘルメットで頭を保護。ひもで締められる運動靴を履き、荷物は背負い、両手を使うように

二次災害を防ぐ

ガスの元栓を閉めてから避難

隣近所で声を掛け合う

避難は2人以上で。隣近所を誘って、集団で避難する。高齢者や障害がある人などの、支援が必要な人に配慮する

歩ける水の深さは50cm

水深50cmを超えてからの歩行は危険。万が一、逃げ遅れたときは建物の2階以上で救助を待つ

避難は徒歩で

車は数十cmの浸水でも浮いて動かなくなるので危険。他の避難者や緊急車両の妨げにもなる

マンホールや側溝に注意

急激な大雨が下水管に流れ込むと、マンホールのふたが開いてしまうこともある。マンホールや側溝への転落に十分注意する

◎

予測できない自然災害から身を守り、被害を減らすため、この機会に改めて、災害への備えや、地域のつながりについて考えましょう。

【詳細】防災課 33・9969